

No	死亡日時	死亡児 年齢 性別	加害者 人数 続柄	被害児への他の虐待の有無	同居きよう だいへの ネグレクト の有無	概要	備考
⑨	h22. 3	5歳 男児	2人 実父実母	母に対する判決によれば、本児の反抗的な態度などから、「しつけの限度を超えて」叩くなどの行為があった。	同居	本児は10ヶ月検診時は特に問題なく養育されていたが、妹誕生（本児1歳7ヶ月）後、自宅洋間で妹の腕を踏みつけたことなどから、両親が相談してロフトに上げることとし、次にロフトで過ごす時間が長くなった。一方父は、母に事前に相談することなく数回転職し、また父名義の借金が続いたことから母の不信感が強くなり、母は経済問題から妹を託児所に預け、本児を自宅に残してパート勤務を続けた。母自身、体重減や自傷行為、多数のピアスをするなど精神的に追い詰められた状態となっていたが、母は本児が反抗的だとして叩き、食事も与えず、留守中にマヨネーズなどをまき散らしたことなどから本児を殴打し、留守中にはトイレに閉じ込め、帰宅すればロフトに上げるようにした。食事もバナナや水を与える程度となり、託児所への連絡ノートにも嘘を書き、祖母にも会わせなかった。父は、本児のせいで母が不機嫌になるとして自らも本児を疎んじるようになった。 本児が5歳になった頃、テレビを見ていた母が「（自分は）育児放棄しているよな」と父に伝えたが、父は「きちんと育児している」と発言。その後も本児をトイレに閉じ込めて父母と妹3人でテーマパークに遊びに行くなどがあった。 本児が死亡した日は、水も飲めない状態の本児を見て母が初めて兄相に電話し、救急搬送されたものの栄養失調で死亡した。	父母とも懲役9年6ヶ月（傷害致死罪）

* 本資料は、判決文をベースにしながら、新聞報道やその後に発行された単行本なども参考にして作成しており、一部に推量して記載した箇所がある。

* 判決内容に関しては、それぞれの段階で示されたものを掲載しているものであり、確定判決とは限らない。

参考例

⑩	h14. 7	1歳 男児	1人 実母	論文では他の虐待は述べられていない	同居	父母結婚後、すぐに本児出生、母は満足な家事・育児が出来なかったが、曲がりなりに本児は順調に成長していた。本児生後8ヶ月で母子は夫方と別居し、その後離婚。その後ホステスとして就労しつつ、母子は勤務先の寮で生活していた。 死亡前月、母は解雇され、寮の退去を求められたため、母は就職活動などのため本児を残して外出。交際相手と会った時には、本児は実家に預けていると説明していた。 母は最後の給料と交際相手の援助などを受けて本児にベビーフードを与えていたが、必要量には及ばず、それらが尽きてからは、お茶のみとなり、餓死させた。 なお、母は幼少期自分の母に置き去りにされ、小学生で母に引き取られてからは同居男性から身体的、性的虐待を受けており、中学時代は児童養護施設で生活していた。また知的障害（ボーダーライン）があったという。	地裁判決は「育児への周囲の援助が全くなくなった時点で母親の問題が一挙に表面化し、結果的に本件に至った」「結果の責任すべてを母親に負わせるのは酷い」として懲役3年、保護観察付き執行猶予5年とした
---	--------	----------	----------	-------------------	----	---	--

表 3-2. 引用判例の一覧

事例 No.	判決日	裁判所	事件番号	掲載誌
①-1	H13.6.21	大阪高裁 (判決)	平 12 (う) 1227 号	判タ 1085 p.292
①-2	H13.9.21	大阪高裁 (判決)	平 13 (う) 622 号	裁判所 HP
②	H14.2.25	さいたま地裁 (判決)	平 13 (わ) 870 号	判タ 1140 p.282
③-1	H14.6.21	神戸地裁 (判決)	平 14 (わ) 235 号・345 号	裁判所 HP
③-2	H14.10.25	神戸地裁 (判決)	平 14 (わ) 317 号・351 号	裁判所 HP
④-1	H14.10.30	名古屋地裁 (判決)	平 12 (わ) 2912 号	D1-Law.com
④-2	H15.10.15	名古屋高裁 (判決)	平 15 (う) 94 号	裁判所 HP
⑤-1	H15.2.21	さいたま地裁 (判決)	平 14 (わ) 450 号	D1-Law.com
⑤-2	H15.3.12	さいたま地裁 (判決)	平 14 (わ) 450 号	裁判所 HP
⑥-1	H15.4.23	岡山地裁 (判決)	平 14 (わ) 773 号	裁判所 HP
⑥-2	H16.1.28	広島高裁岡山支部 (判決)	平 15 (う) 59 号	裁判所 HP
⑦	H17.8.10	広島高裁岡山支部 (判決)	平 17 (う) 80 号	裁判所 HP
⑧-1	H17.10.12	さいたま地裁 (判決)	平 17 (わ) 209 号	裁判所 HP
⑧-2	H18.5.10	さいたま地裁 (判決)	平 17 (わ) 209 号	裁判所 HP
⑨	H23.2.10	奈良地裁 (判決)	平 22 (わ) 65 号	LEX/DB

資料 C-5 “虐待死”に関連するアメリカと UK の文献について

表 5-1 : 検索結果(全容)

	合計	本	他外国	低関連	中関連	統計	医学	調・実	レビュ	システム
2011	83(84)	14	20	4	17	9(10)	4	5	5	5
2010	84(86)	19(21)	20	7	16	6	4	5	3	4
2009	85(87)	20	22	7	18	2	5	1	4	6(8)
2008	76(77)	18	19	4	22	1	3(4)	1	4	3
2007	75	19	15	14	13	5	4	0	1	4
合計	403(408)	90(92)	96	36	86	23(24)	20(21)	12	17	23(24)

*括弧内は、重複文献含めた数。

表 5-2 : 統計的研究概要一覧

2011							
Ref	場所	データ年	データ元	対象	対象数	目的	結果
6	アメリカ			虚偽誘拐事件	61件	特徴把握	誘拐されたと通報して、親が子どもを殺してしまった事例の特徴。ハイリスクの家庭に多く、悲願望児であった、もしくは虐待の末、既に殺害されていることが多くあった。
12	アメリカ	1940-2005		1歳以下		特徴把握	乳児殺の増加は、虐待死と認識されるケースが増加したためである。
13	テキサス州	2005-2007	テキサス州、児童死亡事例検討データ	事故死	1,192名	通報 VS 通報無し	1割に事前の虐待通報があった。「ない」子どもの死因は交通事故が多いが、「ある」子どもは溺死などが多い。
17	EU14カ国		虐待関連死亡事例	0-14歳		DVとの関係	パートナーDVと児童虐待死には関係があると考えられる。
18	カリフォルニア州	1999-2006	カリフォルニア州、出生データ	全員比較		通報 VS 通報無し	事前に虐待通報のあった子は、なかった子に比べて6倍近く死亡率が高かった。
19	アメリカ全土	1940-2005	死亡率	乳児の死亡		特徴把握	社会が虐待に敏感になり、数値的には事故死が減少し、虐待死が増加した。
20	欧州16カ国	2002-2004	WHO死亡データ	全年齢		特徴把握	5歳以下の自宅での死が多い。
21	イングランド	2005-2009FY			246名	特徴把握	ほとんどが身体的な原因だが、4割にはネグレクトの要素も含まれていた。
25	アメリカ	1999-2004		心中		特徴把握	背景特徴の把握と銃器所持方針の見直しの必要性を示唆。

2010							
Ref	場所	データ年	データ元	対象	対象数	目的	結果
32	ジョージア州フルトン郡	1996-2005	フルトン郡検死局の記録	5歳以下の死亡	49名	特徴把握	全体では男児、黒人の死亡が多い。殺人被害に限定すると男女比はほぼ同じ、低年齢の子どもの方がリスク高く、白人の若年の男児が最も被害に遭いやすい。
34	テキサス	1992-1996	テキサス電子データベース	事前にCPS関与	111名	CPS関与とリスクの関係	“CPS関与が増え、リスクが減少したこと”が、死亡の兆候としてあがった。支援を受けている事実だけで、リスク減少と認識されてしまうためではないかと考察。
38	アメリカ16州		暴力による死亡報告システム	5歳以下の虐待死	600名	特徴把握	半数以上が1歳以下、2/3が頭部損傷による死亡、28%がその他の身体的虐待、10%がネグレクト。父親や継父は、母親に比べて有意に多かった。

39	アメリカの地域と他国		WHO 及び疾病管理センターの統計	乳自殺人、殺人、自殺		他要因との関係	乳児殺人は、殺人、自殺双方と関連がある。母親の精神疾患や、地域の暴力とも関連。
40	ニューメキシコ州	6年	検死記録	児童虐待関連事例	45名	特徴把握	すべて5歳以下、頭部損傷が最も多い。加害者は血縁関係が最も多く、中でも父親が最も多い。自宅が多い。
45	イングランドとウェールズ対他産業国	1974-2006	WHO 死亡データ	児童虐待関連死亡		国別比較	虐待死の責任が第一に CPS にあるとする国は4カ国あった。その中でも、イングランドとウェールズは、医療の責任が最も重大とする唯一の国であった。また、イングランドとウェールズ CPS の効果は高いことが解った。

2009

Ref	場所	データ年	データ元	対象	対象数	目的	結果
62	南ウェールズ	1991-2005	犯罪統計データ	子どもの殺人	165名	虐待死の特徴	59名が虐待死。年齢が低い。
68	フロリダ州	1999-2002		虐待加害者	196名	加害者の特徴	いくつものリスクが重なっている母親、DVのある父親が多い。

2008

Ref	場所	データ年	データ元	対象	事例数	目的	結果
78	ミズーリ州	8年間		5歳以下の死亡児	380名	住居状態と死亡の関係	継父母と同居する子どもの虐待死多い。

2007

Ref	場所	データ年	データ元	対象	事例数	目的	結果
83	スコットランド		終身刑の加害父親への調査	父親による虐待死	26名	特徴把握	全員、学歴が低く職業が不安定で前科があった。1人を除いて全員が事前に被害児に暴力を振るい、通報されていた。
88	アメリカ中西部都市部	1993/4~			7,433名	通報 VS 統計	虐待通報歴がある群は、18歳までに死亡する確率が約2倍であった。
89	イギリス	1995-2000	妊娠・出産データベース		18,751,239名	虐待死の母親要因の特定	母親の年齢が低い、父親の年齢がデータにない、母親が黒人であることが危険要因としてあがった。
91	カリフォルニア州、ミシガン州、ロードアイランド		3州のデータソース	虐待死	各258名 192名 60名	監視プログラムの評価	どのプログラムも虐待死の監視としての有効性は無かったが、いくつかのデータを複合的に利用することは効果がありそう。
92	ウエストバージニア州	1999-2004	デスレビューチームの報告	子どもの死亡全般	1,506	特徴把握	26事例が虐待死。内17は加害者が親(父10、母5、両親2)。内5は加害者が、継親もしくは親戚。

表 5-3 : 医学文献概要一覧

2011

Ref	データの情報	概要
1	アメリカ、窒息に関するガイドブック	頸部圧迫、密閉、鼻口圧迫など、それぞれの状況と医学的特徴を説明。
15	アメリカ、十二指腸断裂の事例	統計によると、乳児死亡の1%は腹部内損傷、うち50%が死に至る。事例では、実際に救急で運び込まれた男児の治療と様子を紹介。
16	アメリカ、衝撃の実験(29と連作)	子豚の頭部への衝撃実験。日齢(2-28日)、衝撃の強さ、接点の形により、特徴的な頭蓋骨への損傷が見られる。
28	アメリカ、臓器移植の際の、遺体の状態の保存法	臓器移植により、虐待の痕跡が損なわれる懸念があるため、検死担当医が臓器移植をためらう事がある。胸部内臓を取り出す手術の際、検死に必要な情報を傷つけない簡単な方法を示す。学習チェックテスト付き。

2010

Ref	データの情報	概要
29	アメリカ、衝撃の実験(16と連作)	子豚の頭部への衝撃実験。日齢(2-28日)、17日以下の日齢の子豚は骨折しやすく、24-28日の子豚のダメージは少なかった。

37	アメリカ 39 病院、2004 年 1 月-2008 年 6 月	脳外傷を負った子どもに X 線による骨格検査を行うことが多いのは、公立病院、黒人、ヒスパニックであった。しかし、検査を受けた子どものうち虐待と診断されるのは白人に多かった。黒人やヒスパニックに検査が多いのは、彼らに虐待が多いというバイアスが働いているのではないかと考察できる。
42	メタ	虐待診断は、慎重に行わなくてはならず、臨床医は常に最新の研究結果を知らなくてはならない。中枢神経系は別にまとめるので、それ以外の身体的虐待に関する最新論文をまとめる。虐待及び事故の痣、腹部損傷、口腔部損傷パターンをまとめ、特徴と更なる研究課題を提示する。
43	マイアミ デイド 1994-2003 福祉保健局データ	虐待疑いをかけられた容疑者の中には、子どもの損傷が、蘇生法によるものだと訴える者がいる。訓練を受けていない者が施した蘇生法による胸部内臓損傷及び肋骨骨折は見られなかった。蘇生法の試みによる死亡は起こりにくく、稀だと言える。

2009

Ref	データの情報	概要
52	スコットランドの医師教育を目的とした論説	歯科受診時に見つけた痣や傷の写真または絵、子どもや親の不審な行動の記録を取り、児童福祉機関に報告するべき。目的は、家族への適切な支援であり、歯科医は福祉機関に報告する際、子どもが緊急に分離の必要な危機にない限り、その旨を家族に伝えるべきである。また、報告の 24 時間後には、その事例が対応されているか確認を取るべきである。
55	アメリカ	検死で得られた小児脳硬膜の病理組織的特徴については、あまり整理されていない。脳硬膜で死亡した小児 11 名の事例より、特徴や定義を整理している。
56	ヨーロッパの事例検討レビュー	市販の咳止め、風邪薬の使用と小児死亡の関係について、5 ソースから得たデータを、8 分野の専門家パネルでレビューした。118 事例は、死因に咳止めと風邪薬が関係する可能性があるとしてされた。103 事例は市販薬を使用しており、うち 88 事例は過量服薬によるものと見られた。その他の特徴として、2 歳以下、鎮静目的(虐待にあたる)、デイケア、同成分多重服薬、計測具不使用、薬の勘違い、成人用の薬、などがあがった。
61	世界の研究全てを対象とした、メタ研究	虐待による脳損傷と、その他の脳損傷の鑑別について、1970-2008 年に出版された 14 研究論文をレビュー。性差は無く、無呼吸と目の出血が、虐待による脳損傷と相関があった。頭蓋骨骨折や頭頸部の痣は、虐待でない脳損傷を表す傾向にある。
63	ガイドブック	明白な傷以外にも身体的虐待がある。口腔内や歯、薬物や化学物質による毒害であり、死に至ることもある。認識しやすいものから認識の難しいものまで、被虐待児の損傷の幅について説明する。

2008

Ref	データの情報	概要
72	論説	乳児と小児の頭部損傷が、虐待によるものかの見分けについて考察する。多くの事例に見られる硬膜下出血の状態や出血部位ごとに見ていく。
74		腹部への衝撃による虐待死 4 事例の特徴。全ての事例において、死亡に至った外傷以前に身体的虐待を受けていたことがわかる。
76	メタ	虐待による火傷に関する 26 文献のレビュー。虐待による火傷は、浸かったことによるもの、熱された水道水、四肢もしくは臀部や会陰部、ムラの少ない火傷であることが多く、昔の骨折や関連のない怪我との相関がある。事故による火傷は、こぼしたことによるもの、水道水以外の熱い液体、上半身、まだらな火傷具合の時に多い。

2007

Ref	データの情報	概要
82		頭部損傷のため救急病院に運ばれた、被虐待疑いのある子どもへの CT の利用は、医師から見るとコストの削減にもつながっている。しかし、児童福祉支援の面から見ると支援にかかるコストが CT を取ることで上がってしまうという。短期支援の場合はそうだろうが、長期支援の場合は有用なのではないか。
85	乳児の検死記録 70 例	怪我をしたことなかった 2 週間から 8 ヶ月の乳児の記録を収集。蘇生法による骨折は、成人ではほとんど見られないが、小さな骨折はあるかもしれない。壁側胸膜を剥がしてみなければ見つからないだろう。
86		性被害児の肛門生殖器に関するレビュー。生きている性被害を受けた子どもたちへの調査を、検死の際に生かす。
93		被虐待児の CT/MRI の特徴について、事例を提示しながら説明。

表 5-4 : 調査・実験研究概要一覧

2011		
Ref	対象	概要
3	アメリカの心理専攻学部生	陪審員心理に関する実験的研究。女学生の方が、子を殺した父親に対して重い刑罰を与える傾向、子どもの障害の有無は影響しなかった。
8	ワシントン州の子どもの死亡事例検討チーム	トレーニング前と後の、レビューの質を比較。予防に有用な情報の記入が増え、質も向上。証拠の認知力が特に向上した。

10	アメリカの女子学生	赤ちゃんの泣き声に関する実験的調査。泣き声のタイプにより、ネガティブな認知評価や情動反応がある。
23	ロンドンの臨床医	虐待の認識に関するアンケート調査。多くの医師は、他分野の専門家との協力が必要と自覚している。
26	イギリス9サイトの、児童安全保護理事会	虐待死亡事例検討を行っている専門家への質問紙とインタビュー。報告のレビューにおいて、多分野の協力や検討内容、勧告について調査している。
2010		
Ref	対象	概要
30	ソーシャルワーカーと保健専門職員	アンケート調査のまとめ。子どもへの支援の政策がある地域では、多分野の専門家との協力も積極的に行われていた。多くの回答者は、レーミング氏の報告以降、多分野の専門家との協力が重要と考えるようになっていた。結果をもとに、現場、政策、研究への勧告をリストアップ。
41	精神科医	児童福祉介入の流れと、児童福祉に関するトレーニングへの態度について、匿名アンケート調査。正しい知識を持っていない精神科医が多く、各病院は採用時にトレーニングを施行すべき。また、医師の教育機関も、最終試験の一部として導入すべき。
46	保健関係の職員	児童福祉法に関する知識としつけの実践の知識調査。
47	イギリス、重大事例検討に参加している専門家	報告書から学ぶだけでなく、レビュー自体の最中に学ぶことが多くある。地域ごとの課題に加え、国内全体の傾向を分析して欲しい。現在の2年ごとのレビューは有用だが、ネットですぐに見られるファクトシートが欲しい。など
49	家庭医と児童福祉	政府がGPに求めることを記した書類の全容をGPは知らない。GPは、適切な場所を紹介することが自身の役割だと感じているのに対し、政府は担当家庭の児童福祉の流れ全体に関わることを求めている。GPは、親を支援することが子どもの支援につながると考えており、必ずしも子ども第一ではない。など
2009		
Ref	対象	概要
59	アメリカの2大学の、救急・家庭・小児研修医	2つの地域または各科における、児童虐待に関するトレーニング、快適性、知識の差と、その要因を検討。小児科の研修医は最も長時間、児童虐待についてのトレーニングを受けている。家庭医のトレーニング内容は、地域によって違う。研修中に多くの虐待ケースを経験している方が、より知識があり、就職後の適性が高い。家庭研修医は虐待の知識が少ない。どの科の研修医も、性的虐待の知識が少ない。
2008		
Ref	対象	概要
80	子殺し、子殺し未遂の加害者	68名へのインタビュー。ほとんどが、親、または養育者であった。複雑/難解/不安定な対人関係/ストレス/メンタルヘルスが加害要因としてあがった。福祉介入の過程に焦点を置いている現在の政策では、加害リスクの高い大人への支援が行き届かないと考える。
2007		
Ref	対象	概要
		該当なし

表 5-5：レビュー研究概要一覧

2011		
Ref	目的	概要
5	進化論的思考から子殺しを考察	子殺しは、人間以外の生物にも見られる。進化論的な考えでは、子どもを殺すことが、現状の改善や次に生まれる子どもに投資することになるとも言える。この傾向が人間にも当てはまるのか、文献レビューにより考察する。子殺し加害が初産婦に多いのは、養育方法にかかわらず、どの種にも共通していた。
9	宗教的妄想と子殺しの力動的モデル提唱	分類や疫学研究の文献レビュー、主要先行理論の概要を説明、最後に著者の仮説と、事例を提示する。母親の精神疾患、精神機能、宗教により与えられた役割が関連すると仮定している。
14	SIDS に関する先行研究の批判的評価	SIDS のメカニズムに関する理論はこれまでにいくつかある。これらの研究の多くは、著者らの主観的な仮説から公的資金を使用している。提唱された理論が、どのような背景理論と証拠から論じられているのか査定する。
25	オハイオ州トランプル群、乳児不審死の警察調査ガイドの発展	1歳未満の乳児の死亡22事例が分析された。“The Death of Innocents”という本に掲載された5事例を加えた27のレビューをメタ分析。SIDSと窒息死に関して、警察の調査法はあいまいであった。
27	アメリカ21州の死亡事例検証報告のメタ分析	公開されている1,093の検証報告を分析。対策の提案よりも、問題のアセスメントに注目している傾向。検証により出した勧告に対してフォローアップがされていない。
2010		
Ref	目的	概要
31	イギリス重大事例検	隔年で行われている、2007-2009年度、第5次報告。675事例中268事例が検討され

	討レビュー	た。死亡事例 152、重傷/重体 116 事例。レビュー数は増加している、家族背景の特徴は前回と同様、半数以上が 1 歳未満の乳児であった。など
36	アメリカ、児童虐待死文献レビュー	虐待死に特徴的な、虐待、子ども、養育者のタイプを分析。特徴を知ること、リスクアセスメントツール、職員が担当するケースの上限設定、関係職員の支援システム、SV、入門及び応用的トレーニング、エビデンスベースの介入プログラム、各機関の守秘義務の明確化、多分野アプローチ、児童死亡事例検討への参加、などが予防に有効である。
44	ロンドン、死亡事例の警察調査の振り返り	家庭内の犯罪に関連した、もしくは疑いのある子どもの死 282 事例の調査データのメタ分析。殺人を疑われた事例と疑われなかった事例の比較。いわゆる「刑事の勘」に結びつく心理的背景や徴候を分析。事前の虐待の有無や、親の精神疾患、親の証言と検死結果の食い違い、古い傷など。

2009

Ref	目的	概要
51	イギリス重大事例検討レビュー	隔年で行われている、2005-2007 年度、第 4 次報告。家族の不自然な行動は、関わる専門家の思考と行動に反映されていた。家族と専門家の双方が、問題が多すぎて手をつけられないと感じ、この状況は、子どもと直接会わないことへと結びついている。仕事量だけでなく、その内容に圧倒されてしまい、単純な事も出来なくなってしまう。しっかりとした SV が必要。など
54	虐待死の SW の責任に関する文献研究	アセスメントと決断、業務上の責任、職に対する消極的認識、多分野の協力を得にくいなど、様々なテーマがあるが、今日の SW に影響を与える要因は多くある。
65	子殺しの背景について	事例を含めた、文献レビューと、メタ研究の計画。発表に使用したパワーポイント資料と思われる。
67	子どもを殺す父親の文献のメタ分析	数少ない文献から特徴を分析する。加害父親は平均 35 歳、被害児は平均 5 歳、複数の被害者がいることもある、被害児の性差なし。動機には、虐待、精神疾患、配偶者への報復、があった。被害児の死因は致命傷によるものが多く、加害者の自殺が多い、裁判後入院するよりも投獄されることの方が多かった。臨床医は、父親のリスク要因を注意深く察知する必要がある。

2008

Ref	目的	概要
70	イギリス重大事例検討レビュー	隔年で行われている、2003-2005 年度、第 3 次報告。3 分の 2 は死亡事例であった。47%が 1 歳未満、25%が 11 歳以上、うち 9%は 16 歳以上の事例であった。55%は福祉機関と何らかの接点があった。虐待歴に気がつかないで新たなケースとして扱われているものがあつた。半分以上の事例は、DV、親の精神疾患、もしくは親の薬物乱用があつた。
73	アメリカ全土の死亡事例検討の探索的研究	300 以上の勧告を 11 カテゴリーに分類し、その詳細を提示している。より良い報告書のあり方を勧告する。
75	米国内の乳児の被殺人に関する 4 縦断的論文のメタ分析と、その特徴	縦断的研究は 4 つしかなく、このテーマが最後に取り上げられたのは 10 年以上前である。4 論文を分析し、他の先行論文や外国の論文と比較する。先行研究同様、女性の労働、収入、等が被害と関連があつた。他国と比較すると、暴力の多いとされる文化を持つ国よりも、有意に乳児の殺人被害が多かつた。
77	UK2001-2003 重大事例検討のまとめ	重大事例検討は、事例の理解に役立っているが、現場により反映するためには、児童安全保護理事会が、事例から「学ぶ」文化を強化するべきである。障害を持つ子どもは、しっかりと児童安全保護理事会がモニタリングすべき。レビュー報告は、混乱を避けるために簡潔にあるべき。など

2007

Ref	目的	概要
94	アメリカの虐待死の概説	虐待死の歴史、特徴、理解、対応から、SBS や骨折外傷についてなどを網羅。テキスト的な内容。

表 5-6 : システムに関する論説概要一覧

2011

Ref	テーマ	概要
2	重殺人罪についての提言	アメリカの重殺人罪の条件を収集し、その中で普遍的な法則を探索し、最適な法律を提案する。ここで提案する“Dual Culpability principle (二重過失の法則)”は、未必の故意も当てはめることができる。一部、虐待死について考察がある。
4	死亡事例検討チームの効果と今後の課題	アメリカでは、ようやく子どもの死亡事例が注目されるようになった。なぜ死亡したのか、その原因を突き止めることが、予防になるという認識も一般化した。その中で、死亡事例検討チームは中心的役割を担っており、現在このチームの質の向上が目指されている。
7	生活の中の健康に関するリスク	運動不足、肥満、喫煙、薬物使用、性行動、精神疾患、怪我、悪環境など、健康を害する要因を一つ一つ取り上げて、どのような危険と結びついているか解説していく。怪我は暴力と結びついていることが多く、家庭内の暴力は子どもの虐待死と結びついている

		ことが多い。乳児殺人の8割は虐待死（1996）と言われており、怪我の時点で気がつけば予防できることも多い。
11	SWの待遇を改善するために	アメリカの政策で、ケースワーカーの就労条件の向上、トレーニングの充実、担当ケース数の制限などを実現するために、例を示す。政策を変えるきっかけになった事件では、事件によって巻き起こったエナジーの利用、世間の協調を活性化。課題や提言を一本化し、メディアによる訴えを形作り、政治家の危機意識を高め、世間の罵りを戦略的に使っている。
23	重大事例検討とは？	1973年に、継父により殺害された7歳のイギリス人少女の事件は、児童福祉に歴史的な衝撃を与えた。しかしその後も、保護者による拷問の末亡くなった少女や、8ヶ月間暴行を受けて亡くなった17ヶ月の男児の事件を受け、世間には事例検討から何を学んでいるのだろうか？という疑問が浮かんでいる。UKの重大事例検討の目的や方法を具体的に説明していく。

2010

Ref	テーマ	概要
33	イギリスにおける、子どもの虐待死捜査の歴史と発展	虐待死の捜査において2タイプの乳児の虐待死の失敗が各国の調査より見られる。一つは、認識の失敗、もう一つは冤罪である。捜査機関に複雑で対応不可能と見られないように、多分野の専門家の協力が必要不可欠であり、子どもを亡くした親へのケアも必要である。ここでは、イギリスのここ数年のアプローチの背景を説明する。
35	子どもの虐待死対応の歴史と近年の発展	これまでの米英の歴史を振り返りながら、近年の発展について批判的に考察する。現在は、起訴されたケースには多分野の専門家（警察、検察、ソーシャルワーク、児童福祉機関、精神科医、地域の支援機関）が関わるのが基本であるが、これにより『刑罰』が目ざされ、『予防』がおざなりになっている。
48	子どもの死に関する概説	ワークの配布資料。子どもの死に関する一般認識、政策とガイドライン、実際の対応例、課題、先行研究、力動モデル、多分野の専門家の協力について、概説的に説明。背景にある親の精神疾患や包括的支援の必要性について。
50	子どもの虐待死事例検討委員の効果	アメリカでは、子どもの虐待の数は減っているが、子どもの虐待死の数は変化がない。更に、捜査や報告、定義、診断が異なるため、その数は実際より少なく報告されているだろうとの見解が一般的である。予防システムを構築する上でどうしていけば良いかを提案するために、ほとんどの州で実施されている子どもの虐待死事例検討チームの評価をする。予防の失敗の要因には、主に福祉の関わっていたケースのアセスメントの失敗や通報の欠落があり、その後政策が立てられていた。今後も事例検討を繰り返し、レビューしていく必要がある。

2009

Ref	テーマ	概要
53	子どもの虐待死の裁判におけるジェンダーステレオタイプ	アメリカの統計によると、子どもの虐待死加害者には母親が多い。1966年のある事例では、母親が“殺人罪”で裁かれたのに対し、母親が子どもを熱湯に入れる事を“見逃した”父親に対する実刑はなかった。父親が子どもを守る義務は現在ほど認められていなかったからであろう。現在は男女の責任は同等になりつつあるが、実際はどうだろうか？事例を見ながら考察していく。
57	子どもの虐待死事例検討チームの歩み	1860年にフランスのタルデュエ医師は虐待死の詳細を論じたが、彼の論文は当時重要視されなかったという。1962年にアメリカのケンプ医師が“被虐待児症候群”を出版するまで、虐待死はあまり知られていなかった。この論文により、アメリカでは全ての州に虐待の通報義務が制定され、70年代には虐待防止法が定められた。など
58	イギリスより、虐待死をなくすために	レーミング氏の報告などによりシステムは変わったが、不十分である。レーミング氏は、自分の勧告は実行されておらず、相変わらず前線で関わっている職員の実験に頼っていると不満を見せている。しっかりと検討され対策が考察されたにも関わらず、同じような事件がなぜ再び起きるのか、原因を考察する。
60	死亡事例を生かしたトレーニングの課題	イギリスでは、虐待死が疑われると、地域の児童福祉委員会がその事例を検討するべきか否かを決定する。検討にはトレーニングへの勧告が含まれる場合が多い。ここでは、トレーニングを実施する際、実際関わった職員らへの配慮について考察する。特に“Fabricated and Induced Illness（偽装や誘発による病）”の事例では、職員への衝撃も大きい。
64	乳児死亡の歴史と課題	アメリカ。4つの戦略を提示：母子の将来の見通しを持つ、妊娠中の全ての女性が必要なときに支援を受けられること、民族や人種に有意差があることを明確にすること、出産後1ヶ月以降の死亡の予防にも努めること。
66	子どもの死亡事例から学ぶ	イギリスとウェールズでは、子どもの死亡数は有意に減少しているが、まだ多い。2005年の15歳以下の子どもの死亡は1200人であった。いくつかの研究によると、これらの内29%は予防できるという。また、4分の1は死亡の原因が特定できていない。など

2008

Ref	テーマ	概要
69	専門家の偏見問題について	イギリスが隔年で行っている2003-05の重大事例検討のメタ分析では、専門家の責務の認識が大きな課題としてあがった。政策を作る人達は、福祉に関わる専門家が、各専門域において行動するのではなく、児童福祉の連続体の中で支援しているということを確認

		識するべきである。機関同士の連携がない状態では、毎回はじめから調べ直して支援しなくてはならず、携わる職員の絶望感も増す。ケースの歴史や、力動を理解していく為に有効な SV も必要である。
71	ある虐待死事例の報道の分析	1973年に虐待を受けて死亡した女児の事例を取り上げ、報道の中での死亡した被害者の影響を分析している。
79	イギリスの死亡事例検討の状況報告	イギリス。2006年に出版された“Working Together to Safeguard Children”は、世界ではじめて、子どもの死亡の調査と全ての事例の検討を行うことを国内全土で義務化したものである。事例検討の内容の分析とレビューの結果を報告する。
2007		
Ref	テーマ	
81	司法関係職員の虐待死に関する知識の重要性	虐待死事件の調査や起訴は、警察、検察、司法システムが担っている。加害を疑われた家庭に生存している子どもが暮らしているならば、検死報告に明確な結果が現れなくても、疑わし場合は児童福祉の関与が必要である。その決定は、児童福祉や検死の専門家ではない、司法の人間が下さなくてはならない。警察、検察、または司法システムの職員への概説。
84	司法システムの先入観	2007年、ある2人の少年が、コミュニティーセンターに忍び込み、ガスオープンで子犬を焼き殺したとして、それぞれ10年の判決を言い渡された。その1週間前、交際相手と共謀して、自分の子ども3人を拘束した車を湖に沈めた母親が言い渡された刑は、同じく10年であった。など
87	加害者のリスクアセスメントの必要性	UK。いくつかの地域の警察機関が行っているDV加害者のリスクアセスメントを検証し、児童福祉が介入すべきか否かを検討する。性犯罪の前科、支配的な行動、薬物乱用、精神疾患、離婚、妊娠、虐待のエスカレート、殺害の脅し、子どもの虐待、孤立、などが挙げられている。これらは児童福祉との情報共有が必要と考えられ、より構造化されたリスクアセスメントが期待される。
90	虐待死加害者を殺人罪で裁くべき理由	アメリカ、ニューヨーク州の裁判所について。長期的な子どもの虐待による死亡は、加害者の動機が証明できないことが多い。このため、ニューヨークを含めたいくつかの州は“Depraved Indifference (邪悪な無関心)”のコンセプトを適用して法律を定めている。など

結果文献一覧 (5分類のみ)

2011

- Baker, A. (2011). *Asphyxial Deaths in Infants and Children*. Retrieved from <http://cme.med.umich.edu/childconference/downloads/L2-Baker.pdf>
- Binder, G. (2011). Making the Best of Felony Murder. *Boston University Law Review*, 91(2), 403.
- Bottomsa, B.L., Kalderb, A.K., Stevenson, M.C., Oudekerkd, B.A., Wiley, T.R. & Peronae, A (2011). Gender differences in jurors' perceptions of infanticide involving disabled and non-disabled infant victims. *Child Abuse & Neglect*, 35(2), 127-141.
- Broderick, S. (2004). Reducing Child Fatalities through a Team Approach. *National Center for Prosecution of Child Abuse Update Newsletter*, 17(8).
- Buitendijk, C. (2011). *On human parental investment termination (Master's thesis)*. Retrieved from <http://igitur-archive.library.uu.nl/student-theses/2011-0131-200257/UUindex.html>
- Canning, K.E., Hilts, M.A. & Muirhead, Y.E. (2011). False Allegation of Child Abduction. *Journal of Forensic Sciences*, 56, 794-802.
- Gatterman, M.I.(2007). Health Promotion: Whose Job Is It? *Dynamic Chiropractic*, 25(26).
- Johnston, B.D., Bennett, E., Pilkey, D., Wirtz, S.J. & Quan, L. (2011). Collaborative process improvement to enhance injury prevention in child death review. *Injury Prevention*, 17, i71-i76.
- Knabba, J.J., Welshb, R.K. & Graham-Howardb, M.L. (2011). Religious delusions and filicide: a psychodynamic model. *Mental Health, Religion and Culture*. doi:10.1080/13674676.2011.594998.
- Ladd, A.J. (2010). *Infant cries as predictors of child abuse potential: Associations of working models of attachment, cognitive appraisals and emotional reactions (Doctor's Thesis)*. Retrieved from <http://gradworks.umi.com/3424378.pdf>.
- Lyons, P., Beck, E. & Lyons, M.J.(2011). Capitalizing Capitol Capital: Child Welfare Policy Advocacy. *Families in Society*, 92(3), 269-275.
- Matthew M Large, M.M. & Nielsse, O.B. (2011). Infant homicide in the USA between 1940 and 2005. *Journal of Epidemiology & Community Health*, doi:10.1136/jech-2011-200081.
- Parks, S.E., Mirchandani, G., Rodriguez, S. & Hellsten, J. (2011). History of maltreatment among unintentional injury deaths: analyses of Texas child fatality review data, 2005-2007. *Injury Prevention*, 17, i14-i18.
- Paul N Goldwater, P.N. (2011). A perspective on SIDS pathogenesis. The hypotheses: plausibility and evidence. *BMC Medicine*, 9(64), doi:10.1186/1741-7015-9-64.
- Poole, M., Lawson, K.A., Edwards, G., Meyer, T. & Garcia, N. (2011). Case Study: Duodenal Transection in Child Abuse. *Journal of Trauma Nursing*, 18(4), 246-248
- Powell, B. J., Passalacqua, N. V., Baumer, T. G., Fenton, T. W. and Haut, R. C. (2011), Fracture Patterns on the Infant Porcine Skull Following Severe Blunt Impact. *Journal of Forensic Sciences*, doi:10.1111/j.1558-4029.2011.01969.x.

17. Pritchard, C. (2012). Family Violence in Europe, Child Homicide and Intimate Partner Violence. *Handbook of European Homicide Research*, 1, 171-183.
 18. Putnam-Hornstein, E. (2011). Report of Maltreatment as a Risk Factor for Injury Death: A Prospective Birth Cohort Study. *Child Maltreat*, 16(3), 163-174.
 19. Riggs, J.E. (2011). Infant homicide and accidental death in the United States, 1940–2005: ethics and epidemiological classification. *Journal of Medical Ethics*, 37, 445-448.
 20. Sengoelge, M., Hasselberg, M. & Laflamme, L. (2011). Child home injury mortality in Europe: a 16-country analysis. *European Journal of Public Health*, 21(2), 166-170.
 21. Sidebotham P, Bailey S, Belderson P, Brandon M. (2011). Fatal child maltreatment in England, 2005-2009. *Child Abuse Neglect*, 35(4), 299-306.
 22. Sidebotham, P. (2012). What do serious case reviews achieve? *Archives of Disease in Childhood*, 97(3), 189-192.
 23. Sidebotham, P., Fox, J., Horwath, J. & Powell, C (2011). Developing effective child death review: a study of 'early starter' child death overview panels in England. *Injury Prevention*, 17(Suppl. 1), i55-i63.
 24. Sillito, C.L. & Salari, S (2011). Child Outcomes and Risk Factors in U.S. Homicide-Suicide Cases 1999–2004. *Journal of Family Violence*, 26(4), 285-297.
 25. Simeone, G.F. (2010). *The Development of Law Enforcement Investigative Guidelines for Unexplained Infant Deaths (Master's thesis)*. Retrieved from <http://etd.ohiolink.edu/send-pdf.cgi/Simeone%20Gaetano%20F.pdf?ysu1299391993&dl=y>
 26. Webber, M., McCree, C. & Angeli, P. (2011). Inter-agency joint protocols for safeguarding children in social care and adult mental-health agencies: a cross-sectional survey of practitioner experiences. *Child & Family Social Work*.
 27. Wirtz, S.J., Foster, V. & Lenart, G.A. (2011). Assessing and improving child death review team recommendations. *Injury Prevention*, 17, i64-i70.
 28. Wolf, D.A., Derrick, S.M. & Wood, R.P. (2011). Preservation of evidence during pediatric organ donation: a modified thoracotomy procedure designed to increase consent in medical examiner cases. *Progress in Transplantation*, 21(1), 67-71.
- 2010
29. Baumer, T. G., Passalacqua, N. V., Powell, B. J., Newberry, W. N., Fenton, T. W. and Haut, R. C. (2010). Age-Dependent Fracture Characteristics of Rigid and Compliant Surface Impacts on the Infant Skull—A Porcine Model. *Journal of Forensic Sciences*, 55, 993–997.
 30. Boodhoo, A. (2010). *An Examination of Collaborative Working in Child Protection (PhD Thesis)*. Retrieved from http://gala.gre.ac.uk/7134/1/Amanda_Boodhoo_An_examination_of_collaborative_working__2010.pdf
 31. Brandon, M., Bailey, S. & Belderson, P (2010). *Building on the learning from serious case reviews: A two-year analysis of child protections 2007-2009*. Retrieved from <http://www.avaproject.org.uk/>
 32. Cagigas, F.G. & Randy, H.L. (2010). A 10-Year Epidemiologic Review of Homicide Cases in Children Younger Than 5 Years in Fulton County, Ga: 1996-2005. *American Journal of Forensic Medicine & Pathology*, 31(4), 355-358.
 33. Fleming, P.J. (2010). *The English Multi-Agency approach to the investigation of sudden unexpected deaths in infancy and the care of bereaved families*. Retrieved from http://www.ispid.org/fileadmin/user_upload/textfiles/articles/CPR03_Fleming_Investigating_SUDI.pdf
 34. Graham, J.C., Stepura, K., Baumann, D.J. & Kern, H. (2010). Predicting child fatalities among less-severe CPS investigations. *Children and Youth Services Review*, 32, 274–280.
 35. Gurevich, L. (2010). Parental Child Murder and Child Abuse in Anglo-American Legal System. *Trauma Violence Abuse*, 11(1), 18-26.
 36. Hughes, K., Harbert, A. & Tucker-Tatlow, J. (2010). Child Maltreatment Fatalities-Risk Factors and Lessons Learned. Retrieved from http://calswec.berkeley.edu/CalSWEC/RTN/Child_Maltx_Fatalities.pdf
 37. Joanne, N.W., Hall, M., Schilling, S., Keren, R., Mitra, N., David M.R. (2010). Disparities in the Evaluation and Diagnosis of Abuse Among Infants With Traumatic Brain Injury. *Pediatrics*, 126(3), 408 -414.
 38. Klevens, J. & Rebecca, T.L.(2010). Child Maltreatment fatalities in children under 5: Findings from the National Violence Death Reporting System. *Child Abuse & Neglect*, 34(4), 262-266.
 39. Large, M., Nielssen, O., Lackersteen, S. and Smith, G. (2010). The Associations Between Infant Homicide, Homicide, and Suicide Rates: An Analysis of World Health Organization and Centers for Disease Control Statistics. *Suicide and Life-Threatening Behavior*, 40, 87–97.
 40. Lee, C.K. & Lathrop, S.L. (2010). Child Abuse-Related Homicides in New Mexico: A 6-year Retrospective Review. *Journal of Forensic Sciences*, 55(1), 100-103.
 41. Lewington, E. R., Skilling, G. D. & Treliving, L. R. (2010). Child protection: a survey of psychiatrists' knowledge and attitudes. *Child Abuse Review*, 19, 358–368.
 42. Maguire, S. (2010). Which injuries may indicate child abuse? *Education and Practice*, 95, 170–177.
 43. Matshes, E.W. & Lew, E.O. (2010). Do Resuscitation-Related Injuries Kill Infants and Children? *American Journal of Forensic Medicine & Pathology*, 31(2), 178-185.
 44. Mayes, J., Brown, A., Marshall, D., Weber, M.A., Risdon, A., Sebire, N.J. (2010). Risk Factors for Intra-familial Unlawful and Suspicious Child Deaths: A retrospective study of cases in London. *The Journal of Homicide and Major Incident Investigation*, 6(1), 77-96.
 45. Pritchard, C. & Williams, R. (2010). Comparing Possible 'Child-Abuse-Related-Deaths' in England and Wales with the Major Developed Countries 1974-2006: Signs of Progress? (2010). *British Journal of Social Work*, 40(6), 1700-1718.

46. Rae, H., McKenzie, K. & Murray, G. (2010). Health care workers' knowledge of current child protection legislation and child discipline practices. *Child Abuse Review*, 19, 259–272.
47. Sidebotham, P., Brandon, M., Powell, C., Soledo, C., Koistinen, J., Ellis, C. (2010). *Learning from serious case reviews: Report of a research study on the methods of learning lessons nationally from serious case reviews*. Retrieved from http://www.clusterweb.org.uk/UserFiles/KSCB/File/Resources_and_Library/Learning_from_SCRs_Research_Brief.pdf
48. Stroud, J. (2010). *Child Death and Adult Mental Disorder: Evidence of the Need for Integrated Services*. Retrieved from http://www.iop.kcl.ac.uk/iopweb/blob/downloads/locator/l_4_Workshop_12.pdf
49. Tompsett, H., Ashworth, M., Atkins, C., Bell, L., Gallagher, A., Morgan, M., Neatby, R. and Wainwright, P. (2010). *The child, the family and the GP: tensions and conflicts of interest for GPs in safeguarding children May 2006-October 2008 Final report February 2010*. Retrieved from <http://eprints.kingston.ac.uk/21149/>
50. Vincent, J.P., Steve, Y., Theresa, M.C. (2010). Effects of a Citizens Review Panel in preventing child maltreatment fatalities. *Child Abuse & Neglect*, 34(5), 324-331.
2009
51. Brandon, M., Bailey, S., Belderson, P., Gardner, R., Sidebotham, P., Dodsworth, J., Warren, C., & Black, J. (2009). *Understanding Serious Case Reviews and their Impact: A Biennial Analysis of Serious Case Reviews 2005-07*. Retrieved from [https://www.education.gov.uk/publications/eOrderingDownload/DCSF-RR129\(R\).pdf](https://www.education.gov.uk/publications/eOrderingDownload/DCSF-RR129(R).pdf)
52. Cairns, A.M. & Welbury, R.R. (2009). The Role of the Dental Team in Child Protection- A Review. *Scottish Medical Journal*, 54(2), 37-40.
53. Chung, S. (2009). *Mama Mia! How Gender stereotyping may play a role in the prosecution of child fatality cases*. Retrieved from <http://escholarship.org/uc/item/9fb7c58x>
54. Cousins, E. (2009). *Should child care social workers be held accountable for fatal child abuse?* Retrieved from <http://eprints.port.ac.uk/2335/>
55. Croft, P.R. & Reichard, R.R. (2009). Microscopic examination of grossly unremarkable pediatric dura mater. *American Journal of Forensic Medicine & Pathology*, 30(1), 10-13.
56. Dart, R.C., Paul, I.M., Bond, G.R., Winston, D.C., Manoguerra, A.S., Palmer, R.B., Kauffman, R.E., Banner, W., Green, J.L., Rumack, B.H. (2009). Pediatric Fatalities Associated With Over the Counter (Nonprescription) Cough and Cold Medications. *Annals of Emergency Medicine*, 53(4), 411–417.
57. Durfee, M., Parra, J.M., Alexander, R. (2009). Child Fatality Review Teams. *Pediatric Clinics of North America*, 56(2), 379–387.
58. Göpfert, M. (2009). Guest Editorial: A message from Britain: Inquiries into child deaths – will it ever change? *Advances in Mental Health*, 8(3), 227-230.
59. Heisler, K.W., Starling, S.P., Edwards, H. & Paulson, J.F. (2006). Child Abuse Training, Comfort, and Knowledge among Emergency Medicine, Family Medicine, and Pediatric Residents. *Medical Education Online* 2006, 11(25).
60. Horwath, J. & Tidbury, W. (2009). Training the workforce following a serious case review: lessons learnt from a death by fabricated and induced illness. *Child Abuse Review*, 18, 181–194.
61. Maguire, S., Pickerd, N., Farewell, D., Mann, M., Tempest, V., Kemp, A.M. (2009). Which clinical features distinguish inflicted from non-inflicted brain injury? A systematic review. *Archives of Disease in Childhood*, 94, 860-867.
62. Nielssen, O.B., Large, M.M., Westmore, B.D. & Lackersteen, S.M. (2009). Child homicide in New South Wales from 1991 to 2005. *The Medical Journal of Australia*, 190(1), 7–11.
63. Palusci, V.J., Schmidt, C.J. & Hammel, P.W. (2009). Other Patterns of Injury and Child Fatality. *A Practical Guide to the Evaluation of Child Physical Abuse and Neglect*, 2, 307-332.
64. Shore, B. & Shore, R. (2009). *Kids Count Indicator Brief: Reducing Infant Mortality*. Retrieved from <http://www.aecf.org/~media/Pubs/Initiatives/KIDS%20COUNT/K/KIDSCOUNTIndicatorBriefReducingInfantMortality/ReducingInfantMortality.pdf>
65. Tyson, D. & Brown, T. (2009). *Mental Health, Filicide, Parental Separation & Divorce: The need for early intervention and a better coordinated approach*. Retrieved from <http://aija.org.au/Family%20Violence%2009/Papers/Tyson%20PPT.pdf>
66. Sidebotham, P. & Pearson, G. (2009). Responding to and learning from childhood deaths. *BMJ* 2009, 338.
67. West, S.G., Friedman, S.H. and Resnick, P.J. (2009). Fathers Who Kill Their Children: An Analysis of the Literature. *Journal of Forensic Sciences*, 54, 463–468.
68. Yampolskaya, S., Greenbaum, P.E. & Berson, I.R. (2009). Profiles of Child Maltreatment Perpetrators and Risk for Fatal Assault: A Latent Class Analysis. *Journal of Family Violence*, 24(5), 337-348.
2008
69. Brandon, M., Belderson, P., Warren, C., Gardner, R., Howe, D., Dodsworth, J. and Black, J. (2008). The preoccupation with thresholds in cases of child death or serious injury through abuse and neglect. *Child Abuse Review*, 17, 313–330.
70. Brandon, M., Belderson, P., Warren, C., Howe, D., Gardner, R., Dodsworth, J. & Black, J. (2008). *Analyzing child deaths and serious injury through abuse and neglect: what can we learn? A biennial analysis of serious case reviews 2003–2005*. Retrieved from <http://www.knowsleyspace.co.uk/Resources/m/6/d/Analysing%20Child%20Deaths%202003-5.pdf>

71. Butler, I. & Drakeford, M. (2008). Booring or cheering? Ambiguity in the construction of victimhood in the case of Maria Colwell. *Crime Media Culture*, 4(3), 367-385.
72. Case, M. E. (2008). Inflicted Traumatic Brain Injury in Infants and Young Children. *Brain Pathology*, 18, 571-582.
73. Douglas, E.M. and Cunningham, J.M. (2008). Recommendations from child fatality review teams: results of a US nationwide exploratory study concerning maltreatment fatalities and social service delivery. *Child Abuse Review*, 17, 331-351.
74. Dye, D.W., Peretti, F.J. & Kokes, C.P. (2008). Histologic Evidence of Repetitive Blunt Force Abdominal Trauma in Four Pediatric Fatalities. *Journal of Forensic Sciences*, 53(6), 1430-1433.
75. Hunnicutt, G. & LaFree, G. (2008). Reassessing the Structural Covariates of Cross-National Infant Homicide Victimization. *Homicide Studies*, 12(1), 46-66.
76. Maguire, S., Moyhihan, S., Mann, M., Potokar, T. & Kemp A.M. (2008). A systematic review of the features that indicate intentional scalds in children. *Burns*, 34(8), 1072-1081.
77. Rose, W. & Barnes, J. (2008). Improving safeguarding practice: Study of serious case reviews 2001-2003. *The Open University Research Report*. Retrieved from <https://www.education.gov.uk/publications/eOrderingDownload/DCSF-RR022.pdf>
78. Schnitzer, P.G. and Ewigman, B.G. (2008). Household Composition and Fatal Unintentional Injuries Related to Child Maltreatment. *Journal of Nursing Scholarship*, 40, 91-97.
79. Sidebotham, P., Fox, J., Horwath, J., Powell, C. & Perwez, S. (2008). *Preventing Childhood Deaths: A Study of 'Early Starter' Child Death Overview Panels in England*. Retrieved from http://www.kenttrustweb.org.uk/UserFiles/KSCB/File/Resources_and_Library/DCSF-RR036.pdf
80. Stroud, J. (2008). A psychosocial analysis of child homicide. *Critical Social Policy*, 28(4), 482-505. 2007
81. Bala, N. & Trocmé, N. (2007). *Child Protection Issues and Pediatric Forensic Pathology*. Retrieved from http://www.attorneygeneral.jus.gov.on.ca/inquiries/goudge/policy_research/index.html
82. Campbell, K.A., Berger, R.P., Ettaro, L. & Roberts, M.S. (2007). Cost-effectiveness of Head Computed Tomography in Infants With Possible Inflicted Traumatic Brain Injury. *Pediatrics*, 120(2), 295-304.
83. Cavanagh, K., Dobash, R.E. & Dobash, R.P. (2007). The murder of children by fathers in the context of child abuse. *Child Abuse & Neglect*, 31(7), 731-746.
84. Collins, J.M. (2007). Lady Madonna, Children at Your Feet: The Criminal Justice System's Romanticization of the Parent-Child Relationship. *Iowa Law Review*, 93(1), 131-184.
85. Dolinak, D. (2007). Rib Fractures in Infants Due to Cardiopulmonary Resuscitation Efforts. *American Journal of Forensic Medicine & Pathology*, 28(2), 107-110.
86. Elder, D.E. (2007). Interpretation of anogenital findings in the living child: Implications for the pediatric forensic autopsy. *Journal of Forensic and Legal Medicine*, 14(8), 482-488.
87. Humphreys, C. (2007). Domestic violence and child protection: exploring the role of perpetrator risk assessments. *Child & Family Social Work*, 12, 360-369.
88. Jonson-Reid, M., Chance, T. & Drake, B. (2007). Risk of Death Among Children Reported for Nonfatal Maltreatment. *Child Maltreat*, 12(1), 86-95.
89. Luke, B. & Brown, M.B. (2007). Maternal Risk Factors for Potential Maltreatment Deaths Among Healthy Singleton and Twin Infants. *Twin Research and Human Genetics*, 10(5), 778-785.
90. Maylor, C.L. (2007). Recalibrating Depravity in a Feingold Regime: Why New York Courts Should Maintain Register's Approach to Depraved Indifference in Cases of Murder by Abuse. *Cardozo Law Review*, 29(1), 405.
91. Schnitzer, P.G., Covington, T.M., Wirtz, S.J., Verhoek-Oftedahl, W. & Palusci, V.J. (2008) Public Health Surveillance of Fatal Child Maltreatment: Analysis of 3 State Programs. *American Journal of Public Health*, 98(2), 296-303.
92. Thoenen, E. (2007). *Child Deaths in West Virginia 1999-2004*. Retrieved from <https://www.wvdhhr.org/cfrtfinalreport.pdf>
93. Tran, B., Silvera, M., Newton, A. & Kleinman, P.K. (2007). Inflicted T12 fracture-dislocation: CT/MRI correlation and mechanistic implications. *Pediatric Radiology*, 37(11), 1171-1173.
94. Wright, N. & Wright, E. (2007). SOS (Safeguarding Our Survival): Understanding and Alleviating the Lethal Legacy of Survival-Threatening Child Abuse. *Journal of Gender, Social Policy & the Law*, 16(1).

結果書籍一覽

- Ahmed, A.A. & Przygodzki, R.M. (2009). *Pathology Exam Review*. USA: Lippincott Williams & Wilkins, a Wolters Kluwer business.
- Alt, B.L. & Wells, S.K. (2010). *When caregivers kill: understanding child murder by parents and other guardians*. UK: Rowman & Littlefield Publishers, Inc.
- Bach, J.S. (2007). Configuring RT for practitioners. In Hart, A. & Blincow, D. (Eds.), *Resilient Therapy: Working with Children and Families* (pp.167-187). USA: Routledge.
- Belfer, M.L. & Eisenbruch, M. (2007). International Child and Adolescent Mental Health. In Martin, A., Volkmar, F.R. & Lewis, M. (Eds.), *Lewis's child and adolescent psychiatry: a comprehensive textbook* (pp.87-102). USA: Lippincott Williams & Wilkins.
- Belting, M. (Ed). (2009). *Macromolecular drug delivery*. New York: Humana Press.

- Bilo, R., Robben, S. & Rijn, R. (2010). Head. In Bilo, R., Robben, S. & Rijn, R. (Eds.), *Forensic Aspects of Pediatric Fractures* (pp.15-47). Berlin: Springer Berlin Heidelberg.
- Bilo, R.A.C., Robben, S.G.F. & Rijn, R.R. (2010). *Forensic Aspects of Pediatric Fractures*. Berlin: Springer Berlin Heidelberg.
- Bilo, R.A.C., Robben, S.G.F. & Rijn, R.R. (2010). General Aspects of Fractures in Child Abuse. In *Forensic Aspects of Pediatric Fractures* (pp. 1-13). Berlin: Springer Berlin Heidelberg.
- Bilo, R.A.C., Robben, S.G.F. & Rijn, R.R. (2010). Ribs. In *Forensic Aspects of Pediatric Fractures* (pp.49-66). Berlin: Springer Berlin Heidelberg.
- Bing III, R.L. (2007). Home Is Where the Hurt Is: Child Abuse and Delinquency. In McShane, M.D. & Williams, F.P. (Eds.), *Youth Violence and Delinquency: Monsters and Myths* (Chapter 3). USA: Praeger Publishers.
- Bloomberg, M.R. & Farley, T. (2010). *New York City Child Fatality Report*. New York: New York Department of Health and Mental Hygiene.
- Brooke, A. & Anderson, E. (2010). Safeguarding children: heeding the messages. In Redsell, S. & Hastings, A. (Eds.), *Listening to Children and Young People in Healthcare Consultations* (pp.137-150). UK: Radcliffe Publishing.
- Cambridge, P. (2007). Competence in Protecting Adults with Learning Disabilities. In O'Hagan, K. (Ed.), *Competence in social work practice: a practical guide for students and professionals* (pp.119-134). UK: Jessica Kingsley Publishers.
- Campbell, J. (Ed.).(2007). *Assessing dangerousness: violence by batterers and child abusers*. New York: Springer Publishing Company, LLC.
- Clark, R.E., Clark, J.F. & Adamec, C.A. (2007). *The encyclopedia of child abuse*. New York: Infobase Publishing.
- Collins, K.A. (2009). Intentional Starvation/Malnutrition and Dehydration in Children. In Griest, K. (Ed.), *Pediatric Homicide: Medical Investigation* (Chapter 7). USA: Taylor and Francis.
- Cox, C. & Hill, M. (Eds.). (2010). *Professional Issues in Primary Care Nursing*. USA: Wiley-Blackwell.
- Crumb, E. & Taylor, A.G. (2010). Children, Unintentional Injuries, and Homicide. In Corr, C.A. & Balk, D.E. (Eds.), *Children's encounters with death, bereavement, and coping* (pp.109-130). New York: Springer Publishing Company, LLC.
- Daly, M. & Wilson, M. (2008). Is the "Cinderella Effect" Controversial? A Case Study of Evolution-Minded Research and Critiques Thereof. In Crawford, C. & Krebs, D. (Eds), *Foundations of Evolutionary Psychology* (pp. 383-400). USA: Lawrence Erlbaum Associates.
- Daniel, B. (2007). Assessment and Children. In Lishman, J. (Ed.), *Handbook for practice learning in social work and social care: knowledge and theory 2nd edition* (pp.115-127). UK: Jessica Kingsley Publishers.
- D'Cruz, H. (2009). Social work knowledge in practice. In D'Cruz, H., Jacobs, S. & Schoo, A (Eds.), *Knowledge-in-practice in the caring professions: multidisciplinary perspectives* (pp.69-92). England: Ashgate Publishing Limited.
- DeLong, L. & Burkhart, N.W. (2007). *General and oral pathology for the dental hygienist*. USA: Lippincott Williams & Wilkins.
- Donders, J. (2011). Forensic Aspects of Pediatric Traumatic Brain Injury. In Larrabee, G. (Ed.), *Forensic Neuropsychology: A Scientific Approach* (pp. 211-230). USA: OXFORD University Press.
- Dragovic, L.J. (2009). Neuropathology of Brain Trauma in Infants and Children. In Troncoso, J.C., Rubio, A. & Fowler, D.R. (Eds.), *Essential Forensic Neuropathology* (pp.181-202). USA: Lippincott Williams & Wilkins, a Wolters Kluwer business.
- DuBard, I.M. (2011). *A Manifesto on the Constitution, Social Contract, and Certain Inalienable Rights*. USA: Xlibris Corporation.
- Esaki, N. (2008). *The effect of maternal childhood abuse on parenting attitude and behavior*. USA: ProQuest LLC.
- Fagan, P.F. (2007). Belonging: The Formation of Human Capital as Expressed in the Five Basic Institutions of Society. In Scott Loveless, A.S. & Holman, T. (Eds.), *The Family in the New Millennium: Strengthening the family* (pp.36-48). USA: Praeger Publishers.
- Finkelhor, D. (2008). *Childhood victimization: violence, crime, and abuse in the lives of young people*. USA: Oxford University Press.
- Finkelhor, D. (2008). Developmental Victimology: The Comprehensive Study of Childhood Victimization. In Davis, R.C., Lurigio, A.J., & Herman, S. (Eds.), *Victims of crime* (3rd Ed, pp. 9-34). CA: SAGE Publications.
- Firstman, R. & Talan, J. (2011). *The Death of Innocents: A True Story of Murder, Medicine, and High-Stake Science*. New York: Random House Publishing Group.
- Forbes, B.J. & Levin, A.V. (2011). Abusive Head Trauma/Shaken Baby Syndrome. In Reynolds, J. & Olitsky, S.E. (Eds), *Pediatric Retina* (pp.409-422). Berlin: Springer Berlin Heidelberg.
- Gelles, R.J. & Spigner, C.W. (2008). Child Welfare Policy. In Sowers, K.M. & Colby, I.C. (Eds), *Comprehensive Handbook of Social Work and Social Welfare* vol.4 (Chapter 15). New Jersey: John Wiley and Sons, Inc.
- Göpfert, M., McClelland, N. & Wilson, J. (2010). Maternal mental health: an ethical base for good practice. In Kohen, D.(Ed.), *Oxford textbook of women and mental health* (pp.59-71). Oxford: Oxford University Press.
- Griest, K. (2009). *Pediatric Homicide: Medical Investigation*. USA: Taylor and Francis.
- Griest, K.J. (2009). Intentional Suffocation in Infants and Young Children. In Griest, K. (Ed.), *Pediatric Homicide: Medical Investigation* (pp.39-70). USA: Taylor and Francis.
- Guruge, S., Tiwari, A. & Lucea, M.B. (2010). International Perspectives on Family Violence. In Humphreys, J. & Campbell, J. (Eds.), *Family Violence and Nursing Practice* (pp.411-446). New York: Springer Publishing Company, LLC.
- Hart, D. (2009). Assessment before Birth. In Horwath, J. (Ed.), *The child's world: the comprehensive guide to assessing children in need* (pp.229-239). UK: Jessica Kingsley Publishers.

- Horwath, J. (2009). Assessing Children in Need: Background and Context. In Horwath, J. (Ed.), *The child's world: the comprehensive guide to assessing children in need* (pp.18-33). UK: Jessica Kingsley Publishers.
- Howard, L., Hunt, K., Slade, M., Okeane, V. & Seneviratne, T. (2008). Camberwell Assessment of Need for Mothers (CAN-M): *A Needs-Based Assessment for Pregnant Women and Mothers with Severe Mental Illness*. London: RCPsych Publications.
- Hughes, L. & Owen, H. (Eds.). (2009). *Good practice in safeguarding children: working effectively in child protection*. UK: Jessica Kingsley Publishers.
- Hurley, A.C. (2011). *Revolutionary Suicide and Other Desperate Measures: Narratives of Youth and Violence From Japan and the United States*. USA: Duke University Press.
- Jackson, M.Q. (2011). *Vent*. USA: Xlibris Corporation.
- Jones, A. (2009). *Women Who Kill*. New York: The Feminis Press at the City University of New York.
- Kapoor, R. (2007). Adoption: Born to Live. In Patel, T. (Ed.), *Sex-selective abortion in India: gender, society and new reproductive technologies* (pp.232-266). India: Sage Publications India Pvt Ltd.
- Kemp, A., Maguire, S. & Davis, P. (2012). Physical Child Abuse. In Stark, M.M. (Ed), *Clinical Forensic Medicine: A Physician's Guide* (pp. 169-202). New York: Humana Press.
- Kimmerle, E.H. & Chrostowski, L. (2011). Medicolegal Issues of Battered Baby Syndrome. In Ross, A.H., Abel, S.M. (Eds.), *The Juvenile Skeleton in Forensic Abuse Investigations* (pp. 109-123). New York: Humana Press.
- Krous, H.F. & Byard, R.W. (2009). *Sudden infant death syndrome and fatal child abuse*. USA: American Academy of Pediatrics.
- Krugman, S.D. & Krugman, R.D. (2007). Evaluating Risk Factors for Fatal Child Abuse. In Campbell, J. (Ed.), *Assessing dangerousness: violence by batterers and child abusers* (Chapter 4). New York: Springer Publishing Company, LLC.
- Lerner, S. & Skinner, L. (2009). Childcare law and practice for forensic mental health practitioners. In Bartlett, A. & McGauley, G. (Eds), *Forensic Mental Health: Concepts, Systems, and Practice* (Chapter 21). New York: Oxford University Press.
- Levine, M., Perkins, D.D. & Perkins, D.V. (2005). *Principles of Community Psychology: Perspectives and Applications Third Edition*. New York: Oxford University Press.
- Li, L. (2009). Sudden Unexpected Infant Deaths. In Troncoso, J.C., Rubio, A. & Fowler, D.R. (Eds.), *Essential Forensic Neuropathology* (pp.172-180). USA: Lippincott Williams & Wilkins, a Wolters Kluwer business.
- Lindsey, D., Shlonsky A., Renner L.M., Slack K.S. & Berger L.M. (2008). A descriptive study of intimate partner violence and child maltreatment: Implications for child welfare policy. In Lindsey, D. & Shlonsky, A. (Eds), *Child Welfare Research* (pp. 154-172). UK: Oxford University Press.
- Lyons, P & Lyons, T (2008). The role of social work in child maltreatment. In Giardino, A. & Alexander, R. (Eds.), *Child maltreatment: A clinical guide and reference*. (3rd ed.). St. Louis MO: GW Medical Publishing.
- McKee, G.R. (2006). *Why Mothers Kill: A Forensic Psychologist's Casebook*. New York: Oxford University Press.
- Meadow, R (2007). Fatal Abuse and Smothering. In Meadow, S.R., Mok, J.Y.Q. & Rosenberg, D. (Eds.), *ABC of child protection* (pp.38-41). England: Blackwell Publishing.
- Mora, R. (2010). Physical Child Maltreatment. In Riviello, R. (Ed.), *Manual of Forensic Emergency Medicine: A Guide for Clinicians* (pp. 133-155). USA: Jones and Bartlett's Publishers, LLC.
- Motz, A. (2008). *The psychology of female violence, second edition: crimes against the body*. New York: Routledge.
- Munro, E. (2011). *The Munro Review of Child Protection: Final Report - A child-centred system*. Great Britain: the Department for Education.
- Niec, L.N., Brestan, E.V. & Valle, L.A. (2008). Violence on the Screen: Psychological Perspectives on Child Abuse in American Popular Film 1992-2001. In Levin, T. (Ed), *Violence: 'mercurial gestalt'* (pp. 91-110). Amsterdam: Rodopi.
- O'Neal, B.J. (2007). *Investigating Infant Deaths*. Boca Raton: CRC Press.
- Owen, D.J., Knickerbocker, L., Heyman, R.E. & Slep, A.M.S. (2010) Families, Violence, and Abuse. In Bray, J.H. & Stanton, M. (Eds.), *The Wiley-Blackwell Handbook of Family Psychology* (Chapter 52). UK: Blackwell Publishing Ltd.
- Pearson, P. (1998). *When she was bad: how women get away with murder*. London: Virago Press.
- Pfund, R. (2007). *Palliative care nursing of children and young people*. UK: Radcliffe Publishing.
- Poirier, J.G. (2007). Violence in the Family: Including Lethal Outcome. In Hall, H.V. (Ed.), *Forensic Psychology and Neuropsychology for Criminal and Civil Cases, Foundational Issues*. USA: CRC Press.
- Preston-Shoot, M (2007). Case Conferences. In Meadow, S.R., Mok, J.Y.Q. & Rosenberg, D. (Eds.), *ABC of child protection* (Chapter 21). England: Blackwell Publishing.
- Pritchard, C. (2010) The Psychiatric-Child Protection Interface: Research to Inform Practice. In Morgan, C. & Bhugra, D. (Eds), *Principles of Social Psychiatry, Second Edition* (pp.483-497). UK: John Wiley & Sons, Ltd.
- Reder, P. & Duncan, S. (1999). *Lost innocents: a follow-up study of fatal child abuse*. London: Routledge.
- Richardson, T.I., Williams, M.V. & Tracie, O. (Eds.). (2008). *Child abuse and Violence*. New York: Nova Science Publishers, Inc.
- Ross, A.H., Abel, S.M. (Eds.).(2011). *The Juvenile Skeleton in Forensic Abuse Investigations*. New York: Humana Press.
- Sato, Y. & Moritani, T. (2010). Imaging of Nonaccidental Head Injury. In Medina, L.S., Applegate, K.E. & Blackmore, C.C. (Eds.), *Evidence-Based Imaging in Pediatrics: Optimizing Imaging in Pediatric Patient Care* (pp.161-174). New York: Springer Publishing Company, LLC.

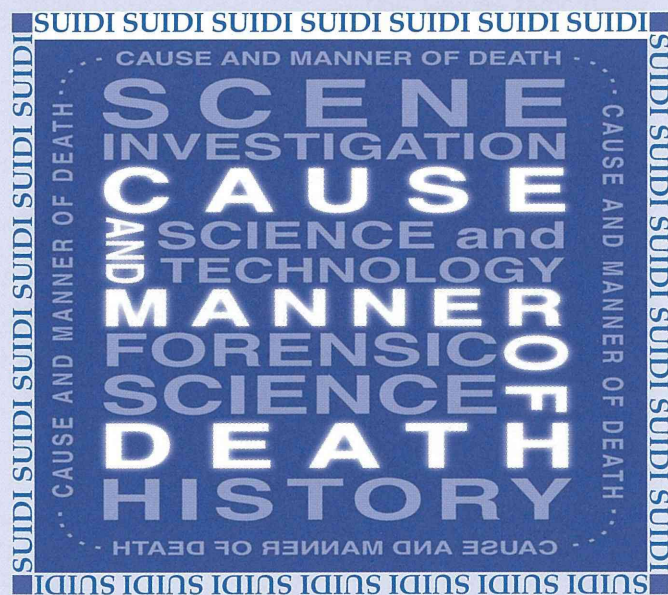
- Sidebotham, P. & Fleming, P. (2008) Serious Case Reviews. In *Unexpected Death in Childhood: A Handbook for Practitioners* (Chapter 12). England: John Wiley & Sons, Ltd.
- Sidebotham, P. & Fleming, P. (2008). Fatal Child Maltreatment. In *Unexpected Death in Childhood: A Handbook for Practitioners*. England: John Wiley & Sons, Ltd.
- Squires, P. & Kennison, P. (2010). *Shooting to kill?: policing, firearms and armed response*. USA: Wiley-Blackwell.
- Stanley, N. & Cleaver, H. (2009). The impact of domestic violence, parental mental health problems, substance misuse and learning disability on parenting capacity. In Horwath, J. (Ed.), *The child's world: the comprehensive guide to assessing children in need* (pp.326-353). UK: Jessica Kingsley Publishers.
- Steinert, H. & Pilgram, A. (Eds.).(2007). *Welfare policy from below: Struggles against social exclusion in Europe*. Ashgate Publishing, Ltd.
- Taylor, C. (2009). Safeguarding Children: Historical Context and Current Landscape. In Broadhurst, K., Grover, C. & Jamieson, J. (Eds.), *Critical Perspectives on Safeguarding Children* (pp. 17-38). UK: John Wiley and Sons, Ltd.
- Taylor, D.T. (2010). Intimate Partner Violence. In Tanski, S., Garfunkel, L.C. & Duncan, P.M. (Eds.), *Performing Preventive Services: A Bright Future Handbook-History, Observation, and Surveillance* (pp. 25-32). USA: American Academy of Pediatrics Department of Marketing and Publications.
- Taylor, J. & Themessl-Huber, M. (Eds.). (2009). *Safeguarding Children in Primary Health Care*. UK & USA: Jessica Kingsley Publishers.
- Tom, J.S., Hall, R.V. & Gandhi, N. (2010). Sudden Infant Death Syndrome (SIDS). Physical Child Maltreatment. In Riviello, R. (Ed.), *Manual of Forensic Emergency Medicine: A Guide for Clinicians* (pp. 171-185). USA: Jones and Bartlett's Publishers.
- Turney, D., Platt, D., Selwyn, J. & Farmer, E. (2011). *Improving Child and Family Assessments: Turning Research Into Practice*. London: Jessica Kingsley Publishers.
- Tyano, S. & Cox, J. (2010) Filicide: Parents Who Murder Their Child. In Tyano, S.M., Herrman, K.H. & Cox, J. (Eds.), *Parenthood and Mental Health: A Bridge between Infant and Adult Psychiatry* (Chapter 19). UK: John Wiley & Sons, Ltd.
- Websdale, N. (2007). Researching Domestic Homicide. In *Understanding Domestic Homicide* (pp. 1-27). USA: Northeastern University Press.
- West, S.G. & Friedman, S.H. (2007) Filicide: A Research Update. In Browne, R.C. (Ed), *Forensic Psychiatry Research Trends* (pp.29-58). New York: Nova Science Publishers, Inc.
- Whitwell, H. (2009). Intentional Head Injury in Infants and Young Children. In Griest, K. (Ed.), *Pediatric Homicide: Medical Investigation* (Chapter 1). USA: Taylor and Francis.
- Wolff, R., Biesel, K. & Heinitz, S. (2011). Chapter9 Child Protection in an age of uncertainty: Gearmany's response in Gilbert, N., Parton, N. & Skivenes, M. (Eds.), *Child protection systems: international trends and orientations* (pp.183-203). Oxford University Press.
- Wood, B., Hassall, I. & Hook, G. (2008). *Unreasonable Force*. New Zealand: Save the Children New Zealand.
- Wood, Y. (2011). Public Health Approaches to Risk Assessment and Risk Management. In Kemshall, H. & Wilkinson, B. (Eds.), *Good Practice in Assessing Risk: Current Knowledge, Issues and Approaches* (pp. 174-194). London: Jessica Kingsley Publishers.
- Wormer, K.V. & Roberts, A.R. (2009). *Death by domestic violence: preventing the murders and murder-suicides*. USA: Greenwood Publishing Group, Inc.

Ⅲ 添付資料

SUIDI：突然の説明困難な乳児死亡事例調査

Sudden Unexplained Infant Death Investigation

(SUIDI: 突然の説明困難な乳児死亡事例調査)



突然の説明困難な乳児死亡事例調査に対する専門性養成のための
体系的トレーニング・プログラム



DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES
Maternal and Infant Health Branch
Division of Reproductive Health
Centers for Disease Control and Prevention
Atlanta, Georgia 30333



このトレーニング・テキストの使い方

このトレーニング・テキストは、予期せぬ乳児突然死亡事例調査 (SUIDI) の専門性養成講座の受講者向けに、総合的な参考資料として作成されたものです。それぞれのトピックは、調査者の実務上必要不可欠なものであることが明確となり、採用されてきたものですから、トレーニング・プログラムを通じて何度も読み返してください。

随時更新される文書です

職員の異動やプロセスの改定があった場合には、新規の情報や追加的情報を受講者に伝えなければなりません。プログラムのうち座学部分は、個々のインストラクターが担当セクションに関する追加的“配布資料”を配っても良いでしょう。この配布資料は、将来も見返して応用できるよう、訓練生のノートに挟み込んでおくようにします。

SUIDI コア・チーム

本テキストおよび関連のSUIDIトレーニング資材はすべて、下記の方々の不断的努力によって作成されたものです：

Thomas Andrew, M.D.	Capt. Donald Burbrink, B.S.	Tracey Corey, M.D.
Teri Covington, M.P.H.	Kathleen Diebold, M.A.	Mary Fran Ernst, B.S.
Roberta Geiselhart, R.N.	Randy Hanzlick, M.D.	Robert Hinnen, M.S.W.
Jeffrey Jentzen, M.D.	Bruce Levy, M.D.	James May
Steve Nunez, B.A.	Bobbi Jo O'Neal, R.N.	Brad Randall, M.D.
Deborah Robinson	Thomas Streed, Ph.D.	Bruce Walz, Ph.D.

加えて、the Centers for Disease Control and Prevention に所属する下記の方々には、SUIDI教育プロジェクトとして、尽力いただいた：

Terry Davis, Ed.D.	Carrie Shapiro-Mendoza, Ph.D., M.P.H.
Kay Tomashek, M.D., M.P.H.	Sarah Blanding, M.P.H., R.D.

Steven C. Clark, Ph.D.
Occupational Research and Assessment
Project Director

Project funding provided by the
Centers for Disease Control and Prevention
Contract #200-2005-13514
Occupational Research and Assessment
2007

御貢献いただいた方々

Sheriff Larry Amerson+

National Sheriff's Association
Chairman Training Committee
Anniston, AL

Robert N. Anderson, Ph.D.+

National Center for Health Statistics
Hyattsville, MD

Thomas Andrew, M.D.*+

Chief Medical Examiner
New Hampshire State Medical Examiner's Office
Concord, NH

Brian Bishop+

National Association of State EMS Directors
Kentucky Board of Emergency Medical Services
Frankfort, KY

Sarah Blanding, M.P.H., R.D.*

Maternal and Infant Health Branch
Centers for Disease Control and Prevention
Atlanta, GA

Susan Broderick, J.D.+

National District Attorneys Association
Alexandria, VA

Suzanne Bronheim, Ph.D.*+

National Center for Cultural Competence
Washington, DC

Stephanie Bryn, M.P.H.+

Health Resources and Services Administration
Division of Child, Adolescent and Family Health
Rockville, MD

Kathleen Buckley, M.S.N., C.N.M.+

Director
National Fetal and Infant Mortality Review
Programs
Washington, DC

Captain Donald Burbrink, B.S.*

Louisville Metro Police Department
Louisville, KY

Mary Case, M.D.+

Chief Medical Examiner
St. Louis County Medical Examiner's Office
St. Louis, MO

Julia Chamberlain, E.M.T.-P, I/C, B.S.N., R.N.

International Association of Forensic Nurses
Leslie, MI

Marie Chandick+

President
Association of SIDS and
Infant Mortality Programs
Stony Brook, NY

Steven Clark, Ph.D.*

Project Director
Occupational Research and Assessment, Inc.
Big Rapids, MI

Tracey Corey, M.D.*+

State Chief Medical Examiner
Kentucky Office of the State Medical Examiner
Louisville, KY

Theresa Covington, M.P.H.*+

Director
National MCH Center for Child Death Review
Okemos, MI

Laura Crandall, P.T., M.A.+

The SUDC Program
CJ Foundation for SIDS
Hackensack, NJ

Karla Damus, M.S.P.H., Ph.D., R.N.+

National March of Dimes
White Plains, NY

* Denotes key author

+ Denotes National Steering Committee Member

Terry W. Davis, Ed.D.*+

National SUIDI Training Coordinator
Centers for Disease Control and Prevention
Atlanta, GA

J. Scott Denton, M.D.+

College of American Pathologists
Office of the Medical Examiners-Cook County
Chicago, IL

Kathleen Diebold, M.A.*

Chief Investigator/Child Death Specialist
Medical Examiner Office
St. Louis, MO

Mary Dudley, M.D.+

Chief Medical Examiner
American Forensic Nurses Association
Wichita, KS

Mary Fran Ernst, B.S.*+

American Board of
Medicolegal Death Scene Investigators
Medicolegal Death Investigator
St. Louis, MO

Andrea Furia+

Back to Sleep Campaign
National Institute of Child Health and
Human Development
Bethesda, MD

Roberta Geiselhart, B.S.N.*

Supervisor of Investigations
Hennepin County Medical Examiner Office
Maples, MN

Joyce Gulley, M.A., L.P.C.+

National Association of Counselors
Oakland County Medical Examiner
Pontiac, MI

Randy Hanzlick, M.D.*+

Fulton County Medical Examiner
Professor of Forensic Pathology, Emory University
Atlanta, GA

Fern R. Hauck, M.D., M.S.

Department of Family Medicine
University of Virginia Health System
Charlottesville, VA

Laura S. Hillman, M.D.

Professor, Child Health and Neonatology
University of Missouri-Columbia
Columbia, MI

Robert Hinnen, M.S.W.*

Program Director
SIDS Center of New Jersey
Hackensack, NJ

Kent Hymel, M.D.+

American Academy of Pediatrics
Committee on Child Abuse and Neglect
Falls Church, VA

Jeffrey Jentzen, M.D.*+

Chief Medical Examiner
Milwaukee County
Milwaukee, WI

Vernon M. Keenan

Director
Georgia Bureau of Investigation
Decatur, GA

Henry Krous, M.D.+

Director of Pathology
Children's Specialist of San Diego
San Diego, CA

Vincent Lafronza, Ed.D., M.S.+

Senior Fellow
National Indian Health Board
Washington, DC

Mary Leary, J.D.+

National District Attorneys Association
Alexandria, VA

Rebecca T. Leeb, Ph.D.+

Division of Violence Prevention
Centers for Disease Control and Prevention
Atlanta, GA